

救急救命サークルACT主催メディカルラリーを開催!

2023年8月8日に本学国立病院機構立川キャンパスにて、メディカルラリーを開催しました。

メディカルラリーとは、医師や看護師、救急救命士から成る数人のチームが救急救命の腕を競う大会のことです。実際の救急現場を再現した場所(シナリオステーション)で模擬患者さんに対して診察や処置を行い、その的確さや職種間の連携などが評価ポイントとして採点されます。チームはいくつかのシナリオステーションを回り、最終的にその総合得点で順位を競います。

今回のイベントでは、以下のとおり4つのシナリオを用意し、一次救命処置、二次救命処置、トリアージの技術などを競い合いました。



ステーション 1 「考動」
地震・津波発生時の災害現場におけるトリアージ、処置、搬送順位決定の実施

ステーション 2 「さあ、参れ! 急行見考じゃあああ!」
ER(救命救急センター)での救命処置

ステーション 3 「TE・N・PU・RA」
火災現場の救急隊とERの医師・看護師が行う連携医療(PI連携)

ステーション 4 「SS」
心停止の子どもに対する家族対応

当日は、サークルメンバー 69 名が参加したほか、卒業生や他大学の医学生及び救命学科学科学生にもご協力いただき、それぞれの視点から救命処置や患者さんへの対応に関するアドバイスを頂きました。

COVID-19 流行前の活動を取り戻し、今後のマラソン救護等のボランティア活動に向けて技術向上を目指していきます。

【救急救命サークル「ACT」とは…】

救急医療についてもっと知識や関心を深めたい!という志を持っている、東京医療保健大学の学生からなる合同サークルです。一次救命処置を学ぶ「A&E」「いーすときん」、二次救命処置を学ぶ「FAST」の3部門があります。オープンキャンパスや学内講習、医愛祭などで誰でも簡単に実施できる応急処置のレクチャーを行っています。現在は、総勢120名(立川看護81名、東が丘看護25名、五反田看護14名)で活動中!来年度には、千葉看護学部でもACTの設立が予定されています!

東京医療保健大学 公式TikTokアカウント開設のお知らせ

東京医療保健大学 公式TikTokアカウントを開設しました。在学生も企画・制作に関わり、受験に役立つ情報やTHCUの今を発信していきます。いいねやフォローお待ちしております!

【アカウント名】東京医療保健大学【公式】
【アカウントID】thcu_official



読者アンケート募集中! /

本学学報「KOKORO」をご覧いただきありがとうございました。今後の紙面充実化を目指し、皆様からのご意見・ご感想を募集しております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



アンケート回答フォーム



01 【巻頭特集】管理栄養士の卵が考案!
HEALTHY RECIPE

03 20周年に向けて生まれ変わる!
世田谷キャンパスを刷新します。

05 20周年に向けて生まれ変わる!
大学のビジョンを改正しました。

07 THCU NOW!

管理栄養士の卵が考案!

HEALTHY RECIPE

医療保健学部医療栄養学科の学生が地域の皆さんの健康を願って考案しました。
手軽に作れる“ヘルシーレシピ”を是非お試しください♪

先生による講評を
紙上でも公開♪



- ①スマートフォンで
二次元バーコードを読み取って
- ②立ち上がったカメラを
各料理の写真にかざすとビックリ!?

ご覧の際にはカメラへの
アクセスをONにしてください。

[動作環境]iPhone: iOS11以降 (Safari)、
Android: Chrome7.0以降

※端末のスペックや通信速度次第では、
動作しない可能性があります。

RECIPE 01 高たんぱく! 簡単カレーパワーライス

スキムミルクを加えてたんぱく質アップ! カレー粉のスパイスさにまろやかさが加わり子供から高齢者まで楽しめる炊飯器カレーです。



POINT

スキムミルクは、
卵焼きやグラタン、
シチューなどに使える
手軽なカルシウム
補給食品です。

材料 約2人分

- 米…1合
- 水…適量
- 鶏もも肉…160g (大1/2枚)
- たまねぎ…1/4個 (40g)

- にんじん…中1/4本 (30g)
- じゃがいも…中1/2個 (40g)
- えだまめ (冷凍)…15個 (20g)
- カレー粉…小さじ3 (6g)

- スキムミルク…大さじ1 (6g)
- はちみつ…小さじ2 (6g)
- 固形ブイヨン…1個 (4g)
- こいくちしょうゆ…小さじ1/2

作り方

- 炊飯器に研いだ精白米と水(1合の目盛り)、調味料(カレー粉、スキムミルク、はちみつ、固形ブイヨン、こいくちしょうゆ)を加え混ぜ、30分程度浸漬する。
- 鶏もも肉は1口大に切った後、そのまま炊飯器に加える。
- たまねぎは薄切りに、にんじんとじゃがいもは皮をむき1cm角の角切りにし、炊飯器に加える。※ほかのお野菜でもOK
- 通常通り炊飯する。
- 炊きあがったら解凍してさやかに出したえだまめを加えて混ぜ合わせる。



調理担当

医療保健学部 医療栄養学科 3年

押切 優希

いややえびが入ったシーフードミックスを
使ってシーフードカレー風もお試しくだ
さい。きのこ類を使うと食物繊維がアップ☆
カレー粉はお好みで調整してください。

RECIPE 02

動脈硬化を防ぐ! さば缶春巻き

さばは、動脈硬化や心筋梗塞予防の効果が期待できるEPAやDHAがたっぷり含まれています。
しかも減塩レシピ! その風味で臭みも少なく、満足感ありの一品です。



POINT

EPAやDHAは、
認知機能低下や
認知症予防の効果も
期待されています。

材料 1人分

- さば水煮缶…1/6缶 (1缶200g)
- もやし…軽く1つまみ (10g)
- しその葉…1~2枚
- マヨネーズ…小さじ1/2 (2g)

- 春巻きの皮…1枚 (12g)
- 油…適量

作り方

1. さばは、水気を切って骨を除きほぐす。
2. もやしは食べやすい大きさに切り、しその葉は千切りにする。
3. ボールに、1と2とマヨネーズを加え混ぜる。
4. 春巻きの皮の下のほうに3をのせ、包む。
4. 多めの油を加えたフライパンを熱し、4を入れ弱火で焼く。

RECIPE 03

キッズと一緒に! お好み豆腐

混ぜ合わせてレンジで作る変わり種お好み焼きです。子供と一緒に作って苦手な食材を美味しく食べてください。



POINT

大豆・大豆製品に
多く含まれている
サポニンで
免疫力アップ!

調理担当



医療保健学部 医療栄養学科 4年

今 優花

魚の臭みや豆腐の水っぽさは気にな
らないほど美味しく召し上がること
ができます。子供と大人の作業を分
担して楽しく作ってください!

材料 1人分(1枚分) ※大きさが違う耐熱性のお皿を準備

- 絹豆腐…100g (小1パック)
- さけ水煮缶…1/6缶 (1缶180g)
- 卵…1個 (50g)
- キャベツ…せん切りつかみ (25g)
- オクラ (冷凍)…大さじ1 (10g)

- 顆粒和風だし…適量
(使わなくてもOK)
- ソース…適量
- マヨネーズ…適量
- かつお節…適量
- 青のり…適量

作り方

1. ボールに、豆腐、水気を切り骨を除いたさけ、卵、キャベツ、オクラ、顆粒和風だしを入れ、混ぜ合わせる。
2. 耐熱の小さいほうのお皿に1を入れ、平たくする。ラップをかけ、レンジ(600W)で4分加熱する。
3. 加熱後、レンジから取り出し、一回り大きい耐熱の皿にひっくり返しラップをかけレンジで2~3分加熱する。
4. 別のお皿に盛り付け、ソースやマヨネーズなどをかける。 ※レンジで加熱したお皿はとても熱いです。レンジから取り出す際は、大人が行い、やけどには十分に注意してください。

医愛祭(11月4日・5日)では、
**プレゼント
キャンペーン**を
実施します!(先着)

「学報KOKOROレシピページを見た」
とお伝えください。

場所: 世田谷キャンパス
別館2F A207教室

調理担当



医療保健学部 医療栄養学科 4年

村井 晴

今回はさばを使いましたが、さけを使
っても美味しく作ることができます。
しその葉を減らしマヨネーズを増や
すと子供向けの一品になります。

世田谷キャンパスを刷新します。

AIの普及は、社会のあり方にさまざまな影響を及ぼします。大学に求められる社会的要請も時代と共に変化し続けています。本学は、2025年、創立20周年を迎えるにあたり、世田谷キャンパスの学びを一新し、主体的な学修を通じた多様な人材の育成に積極的に挑戦してまいります。

医療保健学部 医療栄養学科に 「臨床検査学専攻(仮称)」が誕生

「栄養学」×「検査技術」で将来の医療分野を担う

患者の体から血液・尿の一部などを取り出して行う「検体検査」と、体の表面や内部を検査する「生体検査」の2種類の臨床検査を行う臨床検査技師。AIの進化により検体検査の自動化が進む一方、機械に変えることができない「人間の知識やスキル」が求められています。臨床検査技師は臨床検査だけでなく、採血や心臓系検査をはじめ、人が接しなければできないような生理検査の領域も担っているため、全てがAIに淘汰されることは考えられません。また、臨床検査技師は主にICT(感染対策チーム)とNST(栄養サポートチーム)のチーム医療に参画します。そこでは検査結果のデータから意思決定を行うことがで

きる検査技師の存在は必要不可欠。さらに、高齢化に伴う在宅医療の増加に伴い、POCT(臨床現場即時検査)の需要が高まっています。その中では、取ったデータが本当に正しいかを即座に判断し、次のアクションを決定する検査技師が必要とされます。そのような背景の中、本学では栄養状態によって大きく数値が変化してしまう血液や尿の検査値を分析する臨床検査技師には、栄養学の知識が不可欠である点に着目。2024年度から新たに医療保健学部 医療栄養学科に「臨床検査学専攻(仮称)」の開設を構想中です。

目指す人材像

「臨床検査学専攻(仮称)」では、疾病のほとんどが生活習慣病であると言われる現代において、食生活や栄養の観点から、病気の予防と治療の両方へアプローチできるスキルを持つ人材を育成します。また、チーム医療の中で必要とされるデータを的確に判断し、周りの情報を推測する力や、アクティブラーニングを通じたコミュニケーション能力の構築を促進。今後の医療現場に欠かせない強みを持つ人材の育成を目指します。



DXを推進する人材育成を目指し 「健康デジタル学科(仮称)」開設を構想中

文部科学省「大学・高専機能強化支援事業」に選定

本学は、7月21日に文部科学省支援事業「大学・高専機能強化支援事業」に選定されました。この事業は基金を創設し「デジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材の育成に向けて、意欲ある大学・高専が成長分野への学部転換等の改革を行う」という新しい試みです。Plus-DX(デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン)や産業DX(デジタルと専門分野の掛け合わ

せによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業)等での本学の実績、健康・医療分野でのDX推進という社会的重要性・将来性が高く評価されました。今後は医療保健学部 医療情報学科を再編し、工学を含めた複合領域として、「健康デジタル学科(仮称)」の開設を構想中です。

健康デジタル学科(仮称)

IT・データサイエンスコース

- 健康・医療ビッグデータ分析と医療の質向上
- AR・XRによる医療支援技術開発
- デジタルヘルスアプリ開発
- IoT・ビッグデータ・AIによるPHR活用
- 健康・医療DX推進人材育成



スポーツテクノロジーコース

- スポーツビッグデータによるゲーム分析
- AI姿勢推定によるコーチングDX
- オンラインフィットネスによる健康支援
- バリアフリーeスポーツデザイン・評価
- スポーツデータアナリスト育成



今後の計画

医療保健学部 医療情報学科では、2005年の開学時より、電子カルテ等の医療機関の情報化を支える医療人材を育成してきました。近年、ビッグデータ、AI、IoT等の新技術の進展により、社会ニーズは健康・医療・スポーツ等の関連分野へと拡大しています。そのため、文部科学省のPlus-DXや産業DXの支援を受け、産学連携コンソーシアムを構築。実習医療機関も含めて、デジタル人材の人材像や教育内容等の協議を重ねてきました。今後は「健康デジタル学科(仮称)」を開設し、IT・データサイエンスによる課題解決、スポーツテクノロジーの活用を柱に人材育成を行っていきます。MDASH応用基礎レベルのモデ

ルカリキュラムを参考に、1・2年次から少人数の課題解決型アクティブラーニングを進める予定です。さらにインターンシップ等の実践の学びを重視。医療系大学としての本学の特徴を大事にし、関連企業や医療機関等と共に、健康・医療分野のDX推進人材について、意見交換を行いながら取り組みます。また、これまで交流のある複数の海外大学(台湾、アメリカ・ハワイ)と連携し、合同授業や学生交流プログラムの単位化なども検討します。このように、スポーツを含めた健康・医療分野のデジタル人材育成に乗り出し、本学が目標とする人と社会のウェルビーイングに大きく貢献していきます。

20周年に向けて生まれ変わる!

大学のビジョンを改正しました。



- 1 先進的な教育・研究・社会貢献を通じ 一步先の医療保健を創造
 
- 2 専門性の高い 心温かい医療人の育成
 
- 3 すべての医療人の 生涯学習支援
 
- 4 世界をリードする 先進的研究の推進
 
- 5 地域と連携・共生し、 社会に貢献
 
- 6 多文化共存の開かれた 大学教職員の研鑽
 

一步先の医療を創造

7 DXを取り入れ、デジタル社会を先導する スマートキャンパスの構築

「東京医療保健大学ビジョン」は、2017年度に6つのビジョンから制定されました。この度、新たに7つ目のビジョンとして「DXの推進」を追加しました。教育・研究・学生支援・学内業務等、多方面において大胆に改革し、デジタル社会を先導するスマートキャンパスを目指していきます。



教育DX



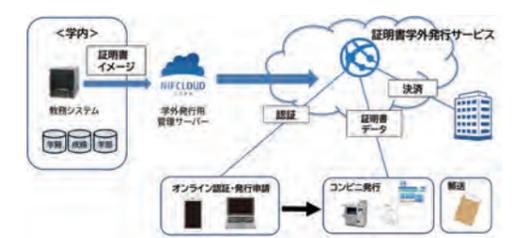
ポストコロナにおいても教育DXを大胆に取り入れ、学修成果の可視化や新しい教育手法の開発を加速します。更に、令和3年度に整備したディプロマサブプリメント(DS)やルーブリックを更に進化させて、多角的に学修成果や教育成果の把握、可視化を行い教育の質保証の確保を行います。それらの整備を図るため、学外パートナーシップの構築や外部資金獲得を積極的に行います。

研究DX



研究交流のリモート化や研究設備・機器への遠隔からの接続、データ駆動型研究の拡大など、世界的に研究DXの流れが加速しています。ポストコロナ社会におけるニューノーマルを、研究活動においても実現するため、研究DXの基盤強化をソフト・ハードの両面から取り組み、オープンサイエンス時代を先導する研究の創出を目指します。

事務DX



18歳人口が減少する今日、競争力が問われる大学の変革期教育研究を支える業務運営全般の事務DX化を加速させます。事務的処理(ノンコア業務)に投入されてきた職員のリソース(経営資源)を大学価値創出にシフトさせ、事務業務軽減によって生み出されたリソース(経営資源)をコア業務に注力し、学生サービス・教員サポートを強化していきます。